

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：高松 諭

事業の概要

事業名	スマートICアクセス 一般県道加田田村線 加田工区	事業区分	地方道	事業主体	滋賀県
起終点	自：滋賀県長浜市加田町 至：滋賀県長浜市加田町	延長	1.5 km		
事業概要	一般県道加田田村線は、(仮称)神田スマートインターチェンジに連結するアクセス道路である。当路線を(仮称)神田スマートICと一体的に整備することにより、企業の物流活動の円滑化および防災拠点へのアクセスルートの形成等、産業・防災分野等において、より一層の整備効果が期待できる事業である。				
事業の目的、必要性	当該事業の整備により、東西方向のネットワークが形成され、高速ICへのアクセス性が向上し、物流活動の円滑化・遅延リスクの回避等が図れ、地域産業の活性化が期待される。また、災害時に拠点となる施設へのアクセス時間が短縮し、救援・救助活動の迅速な展開により、防災性が向上する。				
全体事業費	約8.5億円	計画交通量	2,000台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用対便益	B/C	7.1	総費用 7.6億円 事業費：6.7億円 維持管理費：0.93億円	総便益 5.4億円 走行時間短縮便益：4.8億円 走行経費減少便益：4.2億円 交通事故減少便益：1.6億円	基準年 令和4年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=6.4 (交通量 -10%)	B/C=7.8 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=6.5 (事業費 +10%)	B/C=7.8 (事業費 -10%)		
事業期間変動	B/C=7.0 (事業期間 +20%)	B/C=7.4 (事業期間 -20%)				
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	・渋滞緩和が期待できる。 ・東西方向のネットワークが形成され、(仮称)神田スマートICを利用することで、長浜ICの利用交通が分散され、主要渋滞箇所を通過する交通が1日あたり1,000台減少し、渋滞緩和が期待できる。		
		事故対策	○	・安全性の向上が期待できる。 ・線形改良、幅員拡幅により、走行性の改善、安全性が向上する。		
		歩行空間	—	・注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	○	・通過交通はBPを通るため、集落内への流入が少なくなり、安全性が高まる。		
		地域経済	◎	・(仮称)神田SICとの一体的整備により、長浜市南部地域(田村駅周辺)から長浜ICへの所要時間が6分、米原ICへの所要時間も5分短縮するなど、高速ICへのアクセス時間短縮が図られ、広域的なアクセス性の向上、物流活動の円滑化等が図れ、地域産業の活性化が期待できる。 ・現道は集落内を通過する非常に狭隘な道路であるため、加田田村線の整備により、東西方向のネットワークが形成され、高速ICへのアクセス性が向上する。		
		災害	◎	・広域輸送拠点・防災拠点に位置付けられている長浜港へのアクセス時間が11分短縮されるなど、災害時における、臨時ヘリポート、広域輸送拠点及び防災拠点等、各拠点施設へのアクセス時間が約6分~11分短縮され、物資輸送能力の向上、救援・救助活動の迅速な展開による防災機能の向上が期待できる。		
環境		—	・注目すべき影響はない。			
	地域社会	○	・長浜市南部地域(田村駅周辺)を中心に高速IC10分圏域が約10.2km <sup>2</sup> 拡大(圏域内人口約0.7万人増)し、高速ICへの利便性向上、当該地域の都市機能強化につながる。			
事業実施環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年9月22日 連結許可済</li> <li>地元経済団体などから早期整備の要望を受けている。</li> <li>「長浜市総合計画第3期基本計画」(R4.12策定)の主要事業に位置付けられている。</li> </ul>					

採択の理由

事業主体である滋賀県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が7.1と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、(仮称)神田SICと一体的に整備することで、企業の物流活動の円滑化、遅延リスクの回避、災害時の迅速かつ着実な輸送ルートの確保などが見込まれることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。  
以上により、本事業は令和5年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

関係する地方公共団体等の意見

- 「長浜市総合計画第3期基本計画」(R4.12策定)の主要事業に位置付けられている。
- 南長浜地域のまちづくりを推進する会や長浜商工会議所等から本事業の早期実現の要望活動が行われている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

- 滋賀県が実施した事業評価委員会(令和5年1月20日)において、新規事業化は妥当であると評価。

事業採択の前提条件

- 費用対便益：便益が費用を上回っている。
- 令和4年9月30日付で(仮称)神田スマートインターチェンジが新規事業化。